

世界のむつ市へ。

台湾・ベトナムでトップセールスを展開



① 在台湾日本企業へのプレゼンテーション



② 市長「旅行会社から数多くの提案があり、手応えを感じている。関係者で受入体制を強化し、インバウンドを地域経済の起爆剤としたい。」



③

台湾では、台北市にて社員旅行の目的地にむつ・下北地域を選んでいただくために台湾日本企業へ三村知事らとともにプレゼンテーションを行った他①、台湾を代表する旅行会社4社を訪問し、むつ下北地域の魅力やアクセス、宿泊施設などを説明、新幹線やフェリーを活用した広域周遊型の旅行商品造成をお願いしました。②

台湾

12月

グツアリの企画旅行など、具体的な提案がありました。また、年間300万人以上の観光客が訪れる台湾のジオパーク「野柳地質公園」を視察、関係者と意見交換を行い、ジオパークを通じた世界的な交流をスタートさせたことで、活動の推進にあたり新たな展開へ踏み出しました。③

昨年12月に台湾で、下北地域県民局や下北観光協会連合会などとともにチーム下北による台湾からの誘客に向けたプロモーションを実施。

また今年1月にベトナムで、青森県市長会として青森県産品販路拡大ミッション団とともに、県産品のトップセールスを行いました。

ベトナム

1月

市長「ベトナムは経済成長が著しく、むつ市の特産品についてもベトナム市場での可能性を大きく感じた。国内の人手不足が顕著化する中で人材交流の面でもベトナムの成長力を取り入れ、両者にとって良い関係を築きたい。」



⑤



④ ジャパン・アオモリ・フードフェア

ベトナムでは、ハノイ市の「イオンモールロンビエン店」で開催したジャパン・アオモリ・フードフェアに参加し、青森県産品の販路拡大に向けて青森の美味しい食材をPRしました。④
そのほかベトナム日本友好協会やみちのく銀行と提携する現地財閥のBRGグループを訪ね、ゲン・ティ・ガ会長と懇談。ガ会長は「ぜひ青森との取引を増やしたい。グループに小売りスーパーがあるので青森の優れた海産物や果物をもっと輸入したい。」との考えを示しました。⑤



むつ消防団



協野沢消防団

1月22日(日)・29日(日)

地域の安心・安全のために

消防団出初式

1月22日(日)に協野沢消防団出初式、1月29日(日)にはむつ消防団出初式がそれぞれ行われました。

新年を迎え、大切な家族や仲間が暮らす地域の安心・安全のために、昼夜を問わず最前線に立つ消防団員のみなさんは、今年1年の新たな決意を胸にしました。

平成28年度全国統一防火標語

「消しましょう その火その時 その場所で」
みなさんも火の元、火の始末には十分にご注意ください。

2月6日(月)

おいしい海自カレーをみなさまに

大湊海自カレー普及事業協定

艦内勤務にあたる海上自衛官のみなさんが毎週金曜日に食べるというカレーライス。大湊基地に所属する艦艇にも、それぞれの艦ごとのレシピがあるそうです。

この「海自カレー」を新たなご当地グルメにしようと、海上自衛隊大湊地方総監部、むつ商工会議所およびむつ市が協力し合う「大湊海自カレー普及事業協定」が締結されました。

今後レシピを忠実に再現した海自カレーが市内飲食店にてみなさまに提供されることを目指します。

海上自衛隊自慢のカレーをぜひご期待ください。



1月25日(水)

やさしさでつながるむつ市へ

むつ市認知症サポート事業所認定制度に関する協定

認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに賛同していただける事業所を認定する「むつ市認知症サポート事業所認定制度」。認定された事業所とその従業員に対し金利優遇制度を実施するための協定が、むつ市と株式会社みちのく銀行で締結されました。

これにより、市内のさまざまな事業所が認知症を正しく理解し、患者やそのご家族を温かく見守る、暮らしやすいむつ市を目指します。

